

益田赤十字病院広報誌 2016年 春号

高津川 だより

the takatsu river letter



待望の新病院、診療開始！

院長あいさつ／新病院開院まで／New 益田赤十字病院 外来編

活動報告：季節ごとの行事・イベント／新任医師紹介

クラシックギターコンサート／吉田小学校千羽鶴贈呈

高津川だより

益田赤十字病院広報誌

2016年 春号

2016年 4月発行

〒698-8501

島根県益田市乙吉町1-103-1

tel.0856-22-1480

(代表)

fax.0856-22-3991

※病床数 284床

活動
報告

季節ごとの行事・イベント

2015年11月～1月

益田赤十字病院ギター
同好会&益田ギター愛好会
クラシックギターコンサート



会場となった1階ホールには、入院患者さんや、付添の方々と約50名の方々がクラシックギターの奏でる温かみのある音色に聞き入り、心癒される楽しい一時を過ごすことができました。

平成27年11月29日(日)にクラシックギターコンサートが開催されました。毎年開催されており、今年で14回目となります。旧病院では最後の演奏会となり、演奏者の方も「昔を思い出しながら演奏しました」と言っておられました。クラシックや童謡等 10曲を演奏していただきました。

吉田小学校より
千羽鶴贈呈



活動の一環として、入院中のみなさんの力になるようにと、願いを込めて作ってくださいました。手渡しで受け取りいただいた患者さんたちには笑顔が見られ、吉田小学校のみなさんの思いが、しっかりと患者さんたちに届いたようでした。

多くの皆さんに見ていただけるよう、いただいた千羽鶴とポスターを中央ロビーに掲示しています。お寄りの際には、是非ご覧ください。

平成28年2月24日(水)吉田小学校福祉委員会のみなさんより、千羽鶴とポスターとしおりを寄贈いただきました。今年度の委員会

新任医師紹介



新たに3人の医師が加わりましたので紹介します。



やの せいじ
矢野 誠司
職名／第二泌尿器科部長
趣味／音楽鑑賞
抱負／これまでの経験を生かして「分かりやすく、より安全な」医療を心がけていきたいと思っています。

平成28年1月1日付



かたぎり あつこ
片桐 敦子
職名／第二産婦人科副部長
趣味／テレビ鑑賞(最近は時代劇とEテレ)
抱負／仕事と家事育児の両立を目指して頑張ります。どちらも周囲の理解と協力を恵まれており、感謝しています。

平成28年2月1日付



かたぎり ひろし
片桐 浩
職名／第一産婦人科副部長
趣味／卓球
抱負／平成28年2月より産婦人科で働いております。夫婦共々宜しくお願い致します。

H28年2月1日付

4



平成26年11月

1階躯体工事開始

5



平成27年3月

内装工事開始

6



平成27年6月

躯体工事完了

平成26年11月に1階から病院建物の工事が始まり、平成27年6月には6階まで完了しました。平成27年3月からは内装工事も並行して行い平成27年10月末に新病院が完成しました。

2



平成26年2月

一部解体工事

平成26年3月

杭工事開始

新病院の敷地にあった職員宿舎、倉庫等を解体し、杭工事に着手しました。新病院では全部で291本の杭を打設しました。

3



平成26年6月

基礎工事開始

免震装置据え付けに向け掘削・基礎躯体作業を施工されました。

新病院開院まで



平成21年より準備を進めてきました新病院が平成28年1月4日開院となりました。新病院の工事では、免震装置の設置など基礎工事になんと8ヶ月もかけ、災害に負けないしっかりした土台を築きました。新病院の工事、開院までの様子を紹介します。

I



平成25年10月

安全祈願祭

工事の安全と建物が無事、完成することを祈り安全祈願祭を行いました。

平成28年1月4日より新病院での診療が開始となりました。新病院は284床で、高度急性期・急性期医療に対応します。病棟は免震構造とし、屋上にはヘリポートを設置し高次医療機関への患者搬送も速やかに行えるようにしました。

全体整備が終了するのは、平成28年10月の予定です。その間に、旧病院を取り壊し、駐車場を整備・拡張します。旧病院取り壊し、外溝整備の間は、臨時駐車場の台数が不足し、距離もあるため、皆さまには大変ご不便をおかけしております事をお詫びします。ご理解、ご協力の程よろしくお願いたします。

新病院には、医療従事者のための研修棟を新設しました。圏域の医療従事者の研修などに広く利用をお願いしたいと思えます。当院から、地域医療の新たなあり方が発信できればと考えております。

当院は、昭和29年（1954年）に美濃共存病院より益田赤十字病院となりましたが、そのルーツをたどりますと、大正8年（1919年）に農村医療の先駆者である大庭政世先生が設立した青原組合医院に遡ります。先生の遺訓に「利のために節を遣えず、事業を積極的に経営すべし、而し

Message

院長あいさつ

益田赤十字病院
院長 木谷 光博



て常に新機軸を出すべし。」とあります。また、赤十字の原則は、人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性です。

新病院開院を迎え、初心に立ち返り、当院はこの二つの理念を併せ持つ病院として、職員一同地域に奉仕・貢献できる病院として、常に新しい事に挑戦し成長を続けます。皆さまのご支援をお願いいたします。

○地域医療支援病院として、医療の機能分担を推進します。かかりつけ医からのご紹介をいただき、症状の落ち着いた方ばかりかかりつけ医へ逆紹介させていただきます。

○救急告示病院として、救急患者の受け入れを積極的に行います。

○がん診療連携推進病院として、緩和医療、化学療法、手術療法の充実を図ります。

○脳卒中・心筋梗塞・糖尿病・小児医療・周産期医療・血液透析・運動器疾患など重要な疾患において圏域での当院の役割を果たします。

○災害拠点病院として、災害発生時には、DMAT・赤十字救護班の派遣など積極的に救護活動を行います。



NEW

MASUDA RED CROSS HOSPITAL

\ NEW /

益田赤十字病院

新しく生まれ変わった益田赤十字病院を紹介します。

外来編



1F
NEW
エントランス
ホール

正面のタイル壁、総合受付背面には地場産の石州瓦を使用し、益田らしさを演出しています。

8



平成27年12月5日、6日
内覧会



市民のみなさま、医療機関・行政関係者に見学していただきました。当日は私たちの予想を超える多くの方々に見学いただき、新病院に高い関心を持っていただいていることが分かりました。

新病院開院まで



7



平成27年11月8日
定礎式

建物の永遠の堅固と安泰を祈願し、定礎式を行いました。

10



平成27年12月28日
入院患者移送

打合せ、リハーサルを経て、旧病院より新病院へ入院患者さんの移送を行いました。当日は天候にも恵まれ、「搬出班」、「移送班」、「受入班」に分かれた職員が連携し、無事に患者さん全員を新病院へ移送することができました。

9



平成27年11月28日、12月19日
新病院リハーサル

約180名の職員が患者役、職員役に分かれ新病院の外来・病棟での患者さんの動き、新電子カルテのリハーサルを行い、開院に備えました。



外来での化学療法はこちらで行います。4床から6床へ拡大し、1床あたりのスペースも旧病院より広くなりました。照明には落ち着きのある「間接照明」、空調には「輻射空調」を導入しました。

NEW

外来化学療法室

2F



身体に優しい「輻射空調」。風の吹き出し口がありません。

「輻射空調」とは物質を介さず高い温度から低い温度に熱移動する性質を利用して冷やしたり暖めたりする方法です。例えば冬、縁側でひなたぼっこをしていると、身体がポカポカと暖まります。また夏、トンネルに入ると身体がひんやり涼しく感じられます。その冷暖を感じる現象を利用した空調です。直接冷暖の風を受けないため、長時間の治療がかかる患者さまの身体への負担も軽減できます。身体に優しい、落ち着いた空間で治療を受けることができます。

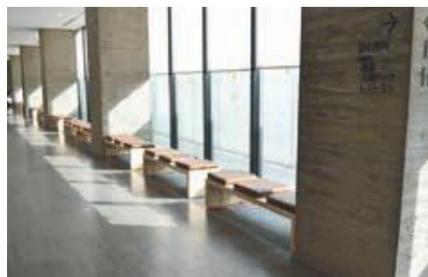


NEW

ギャラリー

1F

ギャラリーはエントランスホールから外来、研修棟へと続く南側に位置した日当たりのよい廊下です。ベンチには高津川流域木材が使われ、グラントワに居るようなステキな廊下になりました。春には日向ぼっこをしなくなるような明るく開放的な空間です。



1階エントランスホール、ギャラリーではWi-Fiが使用できます。待ち時間にご利用ください

NEW

研修棟 講堂

研修棟



講堂は200席収容可能です。医療関係者や地域の方々に広く利用していただけます。また、災害時には多くの患者さんを収容できるように酸素など医療ガスも整備しています。

NEW

血液浄化センター

2F



ベッドが32床あり、午前・午後で最大64名の患者さんの治療が可能です。インフルエンザなど感染の恐れがある場合でも、他の患者さんとうつさず、透析治療が受けられる個室も設置しました。血液浄化センターでも「間接照明」と「輻射空調」を導入しています。

NEW

診察室・ブロック受付

1F



診療科の受付はブロックごとになりました。こちらはAブロック、内科系・神経内科・循環器科の受付になっています。診察室前には呼び出し用のディスプレイが設置されています。

NEW

授乳室

1F



授乳室あります！どなたでもご利用ください。給湯器、シンク、おむつ交換用ベビーベッド、授乳用のソファがあります。

NEW

免震装置

地下



新病院では大地震による災害時も地域の拠点病院として、医療が行えるよう、免震構造を採用しています。ゴムと鋼板をクレープ状に重ねた積層ゴムが地震の揺れを吸収します。5年前の東日本大震災規模の地震でも継続して治療が行われるように設計されています。

NEW

人間ドック

研修棟



人間ドック受付、待合、診察室は研修棟に独立してあります。ゆったりとした環境でお過ごしいただけます。

NEW

放射線科

1F



単純レントゲン写真、マンモグラフィ、CT、MRI、RI、血管造影撮影を放射線科エリアで行います。CTは、最新の装置を導入しました。1回の撮影で1つの臓器（16cmの範囲）の撮影を可能とする320列面検出器を搭載しており、従来のCTに比べ、検査時間が飛躍的に短くなっています。

NEW

検査室

1F



各外来ブロックのほぼ中央にあり、どの外来からも行きやすいところにあります。採血、心電図、超音波（エコー）などの多くの検査がこの検査室で受けられるようになります。